

該当箇所		ご意見の要旨	市の考え方
117頁～118頁	第4章 施策の展開と目標 「介護人材の確保・育成」 「介護現場の生産性の向上」	認知症ケアに対する施設内での現状は、これまでの職員の経験に頼ったケアに留まっている。一方で、厚労省では、科学的介護情報システム（LIFE）では、科学的裏付け（エビデンス）に基づいた介護により、個人の状態に応じたデータに基づく適切なケアを受けることができる。については、介護の質や生産性の向上につながることから、推進をしてほしい。	長期的な視点では、科学的介護情報システム（LIFE）を活用しながら、ケアの質の向上に取り組む介護施設・事業所が増加することで、地域全体の自立支援・重症化防止等へつながっていくものと考えられます。なお、現時点では、自治体から科学的介護情報システム（LIFE）の情報を閲覧することができませんが、将来的には、全国医療情報プラットフォームにおいて、自治体と共有する情報の一つとして検討がされているため、今後の進捗状況を把握し、必要な施策を検討していきます。
118頁	第4章 施策の展開と目標 「介護現場の安全性の確保に関する支援」	離職理由にもつながる「腰痛」について、対策としての移乗用リフトやスライディングボードなど福祉用具の活用に対する支援・補助を加えてほしい。 また、腰痛予防に対して、トレーニングジム等の利用料金への補助を含めた支援をしてほしい。	同頁の取組2「介護現場の生産性の向上」において、ロボットやICTの活用等の支援を事業所が活用できるよう、研修会や補助金の周知を図ることや、前頁の取組1「介護人材の確保・育成」において、介護従事者の負担軽減を図るための研修会を実施することで、介護職場への定着を促進します。第9期近江八幡市総合介護計画においても、人材確保や定着促進を図るための各補助事業を継続実施する予定です。なお、予算の範囲内での事業となりますので、優先順位の中で必要に応じて対応しますが、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。